

発行…青森市議会事務局（青森市中央 1-22-5 TEL 017-734-5743） 編集：議会広報特別委員会



〈浪岡八幡宮をスタートに行われている恒例の健康づくり元旦ジョギング〉

第2回 臨時会

市議会の新たな構成を決定

議長に奥谷進議員、副議長に中川勅使男議員を選出

■平成18年10月29日に市議会議員選挙が行われたため、新議会を構成する平成18年第2回臨時会が、11月27日から29日までの3日間の会期で開かれました。

初日には議長と副議長の選挙が行われ、議長に奥谷進議員が、副議長に中川勅使男議員が選出されました。また、青森市議会委員会条例の一部改正議案が全会一致で可決され、議会運営委員会委員の選任も行われました（参照項目：4㉿「会派別特別委員会・議会運営委員会の構成」、9㉿「議員提出議案」）。

最終日には各常任委員会委員の選任（参照項目：5・6㉿）、特別委員会の設置及び委員の選任

（参照項目：4㉿「会派別特別委員会・議会運営委員会の構成」、各種委員等の推薦・選出（参照項目：6㉿「議会が推薦・選出した委員等」）などを行っています。

■議長・副議長選挙の結果

【議長選挙】

（有効投票41票）

奥谷 進 19票
奥谷 進 17票
奥谷 進 5票

【副議長選挙】

（有効投票39票）

中川勅使男 19票
大坂 昭 14票
大沢 研 5票
渋谷 勲 1票

第4回 定例会

平成17年度一般会計・特別会計決算の認定や ばるるプラザ青森の取得など56議案を可決

■平成18年第4回定例会は、11月30日から12月20日までの21日間の会期で開かれました。

今定例会に市長から提出された議案は、予算案10件、決算1件、条例案7件、単行案34件、人事案4件の計56件で、いずれも原案のとおり可決・認定・同意されました（参照項目：7㉿9㉿「予算決算特別委員会」及び10㉿「議案等審議結果」）。

また、議員から提出された議案は8件で、4件が全会一致で、1件が賛成多数で可決されました（参照項目：9・10㉿「議員提出議案」、10㉿「議案等審議結果」）。

なお、改選後初の一般質問では20人の議員が登壇し、市政全般にわたり活発な論議がかわされました（参照項目：2㉿4㉿「一般質問」）。

就任あいさつ

■このたび、議員の皆様のご推挙によりまして、議長・副議長に就任することになりましたことは、まことに身に余る光栄と存じ上げます。

ご承知のとおり、現在の厳しい社会経済環境を考えますと、本市におきましても、雇用問題をはじめ、難問山積でございます。

みずからの浅学非才を顧みまして、その責任の重さを痛感しているところであります。就任いたしました以上は、決意を新たに、本市の発展と31万市民の福祉の増進に、誠心誠意努力していく覚悟でございます。何とぞ、市民の皆様には、深いご理解ご協力をいただきますようお願いを申し上げます。就任のごあいさつといたします。



副議長
中川勅使男



議長
奥谷 進

一般質問

紙面の都合上、数多くの質問の中から一議員につき一項目を取り上げ、質問、答弁の要旨を掲載しています。

首長の多選制限をどのように考えるか

無所属 奈良岡 隆

問 首長の多選制限の議論について、市長はどのように考えるか。

答 首長の多選については、市長職を担うよう負託を受けている現在、一般論ではなく当事者としてその是非に言及することは控えるべきであると同時に、あくまでも市民の皆様が選挙を通じて判断されるものと考えている。もとより、市長職にこだわりを持ちながら連続とする気持ちは毛頭ないが、これまでどおり一人でも多くの市民の皆様が幸せを実感し、「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりに向けて、市民の皆様から貸し与えられている市長のいすの重みをしっかり受けとめながら職責を全うしていきたい。

市民にわかりやすい予算書・決算書を

社会民主党 斎藤 憲雄

問 住民参加型の行政を進めるために、市民にわかりやすい予算書・決算書をつくる考えはどうか。

答 予算書・決算書については、

様式が決まっております。大幅に変えることは難しいが、財政状況、財政内容を市民の皆様を知っていただくことは、市民の皆様との協働を進めていく上で大変重要なことと認識している。今後は、例えば広報紙を使いわかりやすく財政状況をお知らせしていく等に努めていくほか、複式簿記に関連した財務諸表の貸借対照表なども作成し、より青森市の財政を御理解いただけるようにしていきたい。

市民文化ホール閉館の市民への説明責任は

社会民主党 三上 武志

問 市民文化ホールが閉館されることになるが、市民への説明責任をどう果たすのか。

答 機能面、立地環境、今後の財政負担等を総合的に検証した結果、旧は・る・るプラザ青森を市民文化ホールの代替施設として取得するとの判断に至り、青森市中心市街地活性化基本計画策定委員会に対しても、その旨を説明し、委員の承認を得ている。また、あらかじめ青森市文化団体協議会等への説明を行っており、広域的文化施設の性格上、周辺住民の皆様への説明は考えていないが、新し

い市民ホールについて、広く市民の皆様へのPRを通じて利用促進を図っていく。



〈平成19年6月末で閉館することが決定した市民文化ホール〉

新町通りの全面アーケード化を

自由民主党 工藤 徳信

問 現在策定中の中心市街地活性化基本計画の中で、中心商店街への誘客力を高めるための手段として、新町通りを全面アーケード化とする方向づけができないか。

答 新町商店街の全面アーケードの設置については、誘客力の向上という観点では効果的な手法の一つであるが、実施主体として想定される新町商店街振興組合の負担

能力や道路管理者である県との調整、さらには交通体系への多大な影響など多くの課題があり、基本計画案に掲載することは困難である。しかし、中心市街地への誘客力の向上は、活性化を図る上で重要な要素の一つであることから、実現の可能性を模索していきたい。

保冷库等の施設の利用方法は

自由民主党 佐藤 良隆

問 市が整備する保冷库等について、農協の組合員以外のリンゴ生産者の利用方法はどうか。

答 C A冷蔵庫の利用については、基本的に公設民営を想定しており、農協出荷者に限らず、すべてのリンゴ出荷者が平等に利用できる施設としたいと考えている。機能面については、少量多品種、細やかな需要対応のために複数の貯蔵室の設置と機密性・搬入出の効率化から自動ロボット化を図るなど、施設利用者個々の在庫管理ができる施設とし、さらには最新のセンサー機能を有する選果施設が必要と考えている。管理運営方法については、公平な管理を基本に、引き続き検討していく。

いじめ防止やいじめ発見後の対応は

社会民主党 仲谷 良子

問 いじめ防止やいじめ発見後の対応をどのようにしていくのか。

答 各学校では、いじめは必ずあるとの考えのもと、子供の小さなサインを見逃さないよう、いじめの早期発見に努め、また、発見された場合には、迅速な情報収集や事実確認を行い、さらには必要に応じて関係機関への支援を要請しながら、早期解決に学校を挙げて取り組んでいる。教育委員会では、いじめの早期発見・早期解決につながる研修講座の実施やスクールカウンセラー等の配置など、学校のいじめ防止を支援しており、今後も学校、家庭、地域と力を合わせながら、いじめの根絶に向け全力を挙げていく。

いじめ問題に対する家庭や地域の役割は

市民クラブ 木下 靖

問 いじめ問題に対し、学校、教育委員会、家庭、地域が連携して対処すべきとされているが、家庭や地域でなすべきことは何か。

答 情報の共有と早期対応が第一と考え、家庭や地域に対して、いじめに気づいたときには、ささいなことであってもすぐに情報提供・相談をしてくださるようお願いしている。また、家庭においては、幼少時からの善悪の判断や基本的な生活習慣を身につけさせることなど、思いやりの心を育てることなどが大事であり、いじめの解決を図るためには家庭の責任も重大であると認識している。

※C A冷蔵庫…果実は、採果後も呼吸を続け追熟するため、酸素と二酸化炭素の比率を調整し、リンゴの呼吸を抑制することで休眠状態にして保存する冷蔵庫。

学校施設の雨漏り解消を

日本共産党 館田 瑠美子
問 学校施設について、雨漏りが解消されていない学校が16校残っているが、いつまでに修繕するのか。

答 平成18年度の雨漏りに関する営繕要望は、小学校23校、中学校10校、合わせて33校から修繕依頼があり、そのうち17校は、小回り修繕班及び外部発注により対応してきた。残りの16校については、冬期間のスガもり、積雪による水の浸入が原因と思われるもの、風向き等により一時的で再現性がないもの、さらに専門家も容易に原因箇所を特定できないものもあることから、経過を観察している状況であり、原因箇所が特定でき次第、工法等も含めて検討し、有効な手立てを講じていく。

新城小学校及び中学校の体育館の暖房について

新自民 関良
問 新城小・中学校の体育館の暖房についての考えを示せ。

答 新城小・中学校の屋内運動場については、青森市地域防災計画において、地震等の災害が発生した場合の収容避難所として指定されていることから、設計に当たり、屋内運動場に各種防災資機材保管の倉庫及び環境教育にも活用できるハイブリット発電システムの外灯設備とあわせて暖房設備を設置

することとしている。なお、同小学校の屋内運動場は平成20年度に、同中学校については平成21年度に改築工事を行う予定である。



〈新幹線開業までに交通ターミナル機能の強化などの整備をする現青森駅前広場〉

新幹線開業を踏まえた現青森駅前広場の整備を

自由民主党 嶋田 肇
問 新幹線開業を踏まえ、文化観光交流施設などに快適にアクセスできるように、現青森駅前広場を整備すべきと思うがどうか。

答 現青森駅前については、交通環境の変化へ対応すべく総合交通ターミナル機能を強化することとし、平成18年度から整備に着手している。主な整備内容としては、バス乗降場の集約化やバス、タクシー、自家用車の流れを区分し、

自動車交通の流れの整理を図るほか、中心商店街及び文化観光交流施設へのアクセスとなる主要な歩行者動線にシエルトや融雪施設を設置することにより、四季を通じて安全・快適な歩行者環境等の整備を図ることとしており、新幹線開業前の平成21年度までに整備するよう努めていく。

石江地区周辺の住居表示の整備について

公明党 渡部 伸広
問 新幹線開業を見据えて、石江地区の住環境整備を進めているが、その周辺地区において煩雑になっている住居表示の整備を実施できないか。

答 石江土地地区画整理事業地区内については、その完了時点までに、町名地番整理の手法により住所整備を行うこととしている。また、その周辺地区については、未実施である戸山団地地区の整備にめどがついた段階において、全市的な視野に立ち、宅地化の進行状況や住宅の密集地の度合いなどの土地利用のされ方、道路の整備状況などの基盤整備も十分勘案し、新しい住居表示整備計画への位置づけを検討していきたい。

文化観光交流施設は市民に親しまれるものに

市民クラブ 秋村 光男
問 文化観光交流施設は、観光客

はもとより、何よりも市民に親しまれるものでなければならぬと考えるがどうか。

答 青森駅周辺整備基本計画では、文化観光交流施設の基本概念を「ねぶたがつながる 街、人、こころ」と定め、市民と観光客の多様な交流を通じて、観光客のみならず市民の皆様にも親しまれ、積極的に利用される施設を目指している。施設機能として、ねぶた祭体感ライブ機能に加え、文化活動等の場の提供、まちなか情報発信機能、地場産品を生かしたレストランなどを掲げており、より具体的な事業計画の検討を進めながら平成21年度内の完成を目指していく。

青い森鉄道に対する今後の取組の取り組み

公明党 赤木 長義
問 青い森鉄道に対する今後の取組についての考え方を示せ。

答 厳しい経営環境にある本鉄道線の利用促進策を検討するため設置した「青森市『青い森鉄道』活用会議」では、このほど施策提案書を取りまとめ市に報告したが、これは利用者の利便性向上と鉄道事業の安定性確保に向けた3つの施策と15のプロジェクトで構成されており、市内の需要の見込まれる地区への新駅の設置、本鉄道線の新幹線新青森駅への直通運転などが提案されている。市としては、このプロジェクトが1つでも多く実現されるよう、経営計画等を協

議する機会を捉え、強く働きかけていくとともに、県及び関係機関と連携して、より利用しやすく、また、利用したくなる鉄道となるよう取り組んでいく。

市道筒井幸畑団地線の墓地移転と進捗状況は

新自民 里村 誠悦
問 幸畑団地西口墓地移転と7号線バイパス取り付け道路の進捗状況について示せ。

答 大矢沢共同墓地移転については、これまで10数カ所の移転候補地について共同墓地委員会と協議をしながら、代替地の土地所有者や隣接地の方々との交渉してきたが、その選定に難航していた。このたび新たな移転候補地の土地所有者と交渉を行い、おおむね承諾が得られたことから、現在、大矢沢共同墓地委員会と協議を進めており、同意が得られ次第、隣接地の住民説明会を行っていききたい。また、当該路線の用地買収の進捗率は96・4%であるが、交通ネットワーク上、重要な路線であることから、一日も早い全線開通を目指していく。

業者からの都市計画提案による影響を示せ

公明党 柴田 久子
問 かねて青森工場用地を取得した開発事業者から、都市計画の変更等を求める提案書が提出された

が、市が承認した場合、国に申請予定の中心市街地活性化基本計画の認定に影響があるのか。

【答】 中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の認定の条件を満たすため、市では同用地を含む準工業地域全域に、特別用途地区として大規模集客施設制限地区を都市計画決定した。今回開発事業者から提出された都市計画提案書は、この地区を準住居地域へ用途変更する等により、大規模集客施設の立地を可能とするものであるが、これを承認した場合の認定への影響については、国の基本方針等に明示はないが、影響がないよう対応していく。

戸山団地のコアとしてスーパ一の再開を

【問】 戸山団地のコミュニティ活動の拠点としてもスーパ一が必要だと思つが、スーパ一を再開させるためにどのような施策を考えているか。

【答】 本市では、地域のコミュニティ活動の推進などを目的に、中心市街地のみならず郊外部においても拠点的な市民センターを整備してきた。戸山地区においても市民センターを整備し、多くの方々にご利用されていることから、コミュニティ活動の基盤として中小ショッピングセンターを位置づけることは考えていないが、スーパ一の出店については融資制度等

の情報提供や青森県住宅供給公社への要請を引き続き行っていく。

堤川河口周辺の抜本的な水害防止対策を

【問】 堤川河口周辺の住宅地は絶えず水害の危険があり、抜本的な水害防止対策が必要と思つがどうか。

【答】 堤川河口付近の石森橋から下流は港湾区域となっており、護岸は物揚げ場として施工されているため、上流部の河川護岸と比較すると天端高が低く、背後地の地盤も低いことから、台風時の高潮や冬の風浪時には海水の越流による浸水被害がたびたび発生している。港湾管理者である青森県では、現在、抜本的な浸水対策を検討しているとのことであり、市としては、安全で快適な市民生活を確保するために、護岸整備等により早期に水害防止対策が講じられるよう、県に働きかけていく。

使用禁止になっている滑り台を修理すべきでは

【問】 公園の遊具が壊れたまま放置されている箇所が目立つ。滑り台は何力所に設置され、うち使用禁止にしているものは幾つあるか。また、これらについて平成19年度早々に修理すべきと思つがどうか。

【答】 青森地区の都市公園に設置さ

れている遊具は、合わせて114公園に48基設置されており、そのうち滑り台は、100公園に103基設置されている。破損した滑り台のうち修理可能なものについては、順次、修理しているが、いまだに使用禁止となっている滑り台は、4公園の4基となっており、平成19年度以降、緊急性を考慮しながら修理等その対応を検討していきたい。

リハビリを制限された患者の実態把握は

【問】 医療費抑制のための日数制限によりリハビリを打ち切られてしまった患者は何人いるのか。市は実態を把握しているのか。

【答】 リハビリテーションの日数等については、平成18年度診療報酬改定として、厚生労働省から告示された診療報酬の算定方法によるものである。リハビリテーションを受けられなくなったとされている患者の実態把握については、中央社会保険医療協議会の診療報酬改定結果検証部会が特別調査を年度内に実施するとされていることから、その調査結果及び今後の国の対応を見定めていく。

花岡荘の改築の見通しは

【問】 合併特例債事業に掲げている花岡荘の改築の見通しを示せ。

【答】 花岡荘の改築については、

会派別特別委員会・議会運営委員会の構成

Table with columns for Party, Special Committee, and Council Administration Committee. Rows include Liberal Party, New Self-Democratic Party, Social Democratic Party, Communist Party, Citizens Club, and Independent Party.

「青森浪岡21世紀まちづくりビジョン」において、花岡公園、湿生花園、アップルヒルに隣接する西山公園の3つの公園の機能の充実に資するため、花岡荘を中心に施設の改修を行うこととした健康の森改修事業として、合併特例債を活用したプロジェクトの1つに掲げている。また、平成18年2月に策定した青森市財政プランの中で、平成22年度から平成26年度までを事業期間とした合併関連事業「保養センター花岡荘改築事業」として整理されているが、事業主体を含めた事業のあり方などを、さまざまにバリエーションによる検証を重ねつつ、関係部局との調整をしていく。

・文教経済常任委員会(10人)・

市民文化部、経済部、農林水産部、教育委員会及び農業委員会に関することを担当します。

	◎ ^{お くら たか ひろ} 小倉尚裕 (49) 4期 ①新自民 ②浪岡大字浪岡字稲村19-9 ③0172-62-2059
	○ ^{きの した やすし} 木下靖 (46) 2期 ①市民クラブ ②桂木3-15-22 ③017-776-2513
	^{かみ やま まさ のり} 神山昌則 (58) 1期 ①新自民 ②後潟字大原12 ③017-754-3513
	^{なか た やすひと} 中田靖人 (35) 1期 ①新自民 ②原別1-2-38 ③017-736-3651
	^{やま もと はる お} 山本治男 (49) 1期 ①自由民主党 ②篠田2-19-23-201 ③017-766-0234
	^{ふじ わら こう へい} 藤原浩平 (60) 5期 ①日本共産党 ②原別4-2-29 ③017-736-6562
	^{なる み つよし} 鳴海強 (62) 5期 ①社会民主党 ②筒井字八ッ橋192-6 ③017-738-3232
	^{なか がわ てし お} 中川勅使男 (61) 5期 ①公明党 ②富田5-11-28 ③017-762-0255
	^{く どう とく のぶ} 工藤徳信 (70) 8期 ①自由民主党 ②南佃2-10-3 ③017-741-1312
	^{き むら いわお} 木村巖 (68) 7期 ①自由民主党 ②八重田2-10-5 ③017-736-3458

〔記載例〕
 ・◎…委員長 / ○…副委員長
 ・()…平成18年11月26日現在の満年齢
 ・期数…当選回数(旧市町の当選回数も通算)
 ・①…所属党派 ②…住所 ③…電話番号

・総務企画常任委員会(11人)・

自治体経営局、消防、選挙管理委員会、監査委員、出納及び浪岡事務所に関すること、また、他の常任委員会の所管に属しないことを担当します。

	◎ ^{たて やま ぜん いち} 館山善一 (65) 8期 ①自由民主党 ②古川3-14-5 ③017-776-7512
	○ ^{せき りょう} 関良 (48) 2期 ①新自民 ②新城字平岡128-87 ③017-787-3306
	^{あか ぎ みち よし} 赤木長義 (44) 2期 ①公明党 ②小柳6-9-12 ③017-742-0891
	^{しま だ はじめ} 嶋田肇 (60) 2期 ①自由民主党 ②油川字大浜199 ③017-788-7410
	^{あずはた みどり} 小豆畑緑 (60) 2期 ①自由民主党 ②新城字山田665-42 ③017-788-5813
	^{おお さわ けん} 大沢研 (59) 6期 ①日本共産党 ②茶屋町11-13 ③017-742-7318
	^{はな だ あき ひと} 花田明仁 (54) 3期 ①新自民 ②自由ヶ丘1-9-13 ③017-741-3336
	^{お がさわ まさ かつ} 小笠原正勝 (63) 5期 ①市民クラブ ②泉野字内野50-1 ③017-726-5040
	^{じん ふみ お} 神文雄 (57) 6期 ①市民クラブ ②桜川3-2-10 ③017-742-1481
	^{なか や りょう こ} 仲谷良子 (66) 4期 ①社会民主党 ②筒井字八ッ橋191-15 ③017-738-3900
	^{お だぎり きん ぞう} 小田桐金三 (72) 8期 ①新自民 ②小柳3-15-2 ③017-741-8798

● 民生環境常任委員会(10人) ●

環境部、健康福祉部及び病院に関することを担当します。

	◎ ^{ふ せ かず お} 布施 一夫 (47) 4期 ①日本共産党 ②筒井字八ツ橋938-2-201 ③017-728-4429
	○ ^{わた なべ のぶ ひろ} 渡部 伸広 (39) 1期 ①公明党 ②羽白字沢田654-29 ③017-787-0439
	^{むら かわ} 村川 みどり (33) 1期 ①日本共産党 ②浪館前田4-21-3 ③017-781-6809
	^{ならおか たかし} 奈良岡 隆 (56) 1期 ①無所属 ②桜川2-4-5 ③017-742-0302
	^{なか むら せつ お} 中村 節雄 (46) 1期 ①新自民 ②戸山字赤坂268-210 ③017-742-3560
	^{なら よし たか} 奈良 祥孝 (46) 5期 ①市民クラブ ②岡造道3-4-33 ③017-741-6333
	^{さと むら せい えつ} 里村 誠悦 (58) 2期 ①新自民 ②幸畑1-8-3 ③017-728-3894
	^{さい とう のり お} 斎藤 憲雄 (54) 3期 ①社会民主党 ②富田1-30-27 ③017-782-7514
	^{おく や すすむ} 奥谷 進 (72) 5期 ①自由民主党 ②奥内字宮田8-1 ③017-754-2031
	^{ま やま いさお} 間山 勲 (62) 5期 ①自由民主党 ②青柳2-3-7 ③017-722-7874

● 都市建設常任委員会(10人) ●

都市整備部、上下水道部及び企業局に関することを担当します。

	◎ ^{み かみ たけ し} 三上 武志 (55) 5期 ①社会民主党 ②橋本3-10-19 ③017-722-3430
	○ ^{しば た ひさ こ} 柴田 久子 (56) 2期 ①公明党 ②三内字丸山11-127 ③017-782-2513
	^{たて だ る み こ} 館田 瑠美子 (59) 2期 ①日本共産党 ②油川字中道36-45 ③017-787-2457
	^{おお さか あきら} 大坂 昭 (62) 3期 ①社会民主党 ②本泉1-11-1 ③017-736-8056
	^{まる の たつ お} 丸野 達夫 (40) 2期 ①新自民 ②三内字沢部275-12 ③017-783-2658
	^{あき むら みつ お} 秋村 光男 (59) 2期 ①市民クラブ ②千刈1-22-1 ③017-766-1588
	^{さ とう りょう たか} 佐藤 良隆 (58) 3期 ①自由民主党 ②浪岡大字増館字富岡175-1 ③0172-62-4486
	^{しば たに いさお} 渋谷 勲 (56) 5期 ①新自民 ②八ツ役字芦谷319-7 ③017-739-7906
	^{おお や たもつ} 大矢 保 (56) 4期 ①自由民主党 ②野沢字川部24 ③017-739-3299
	^{ご のへ さんじろう} 五戸 三次郎 (70) 11期 ①自由民主党 ②荒川字筒井1 ③017-739-2752

議会が推薦・選出した委員等

- 農業委員会委員を推薦
 神山 昌則 佐藤 良隆 小笠原正勝 鳴海 強
- 青森地域広域消防事務組合議会議員を選出
 村川みどり 渡部 伸広 奈良 祥孝 大坂 昭
 嶋田 肇 渋谷 勲 大矢 保

- 青森地域広域事務組合議会議員を選出
 館田瑠美子 山本 治男 里村 誠悦 丸野 達夫
 小豆畑 緑 斎藤 憲雄 三上 武志 柴田 久子
 小笠原正勝
- 黒石地区清掃施設組合議会議員を選出
 小倉 尚裕 佐藤 良隆

算 決 算 予 算 特 別 委 員 会

定例会最終日の本会議で、平成18年度の一般会計・特別会計・企業会計の補正予算と、平成17年度の一般会計・特別会計の決算を、予算決算特別委員会の審査報告どおり可決・認定しました。
以下は、委員会での質疑と答弁をまとめたものです。

決 算

問 すべての会計における不納欠損や時効の予備軍となるような債務に対する対応、収納の過程、今後の対策も含めて、収納対策本部で一括管理していくべきと思うがどうか。

答 未納の債務が不納欠損や時効にならないようにすることが市の責務である。そのため、不納欠損や時効になる前の予備軍の事前把握も重要であり、今後、収納対策本部において、どのように捕捉していくのか研究し、不納欠損等が少なくなるよう努めていきたい。

問 中核市青森市としてどのような入札改革を考えているのか。

答 市では指名競争入札を原則としており、施工能力等の情報をあらかじめストックしている点で、効率的な発注ができることに加え、地元業者の受注機会を確保できる有効な入札方法であると考えている。反面、一般競争入札に比べて競争性の点において問題があることも否めない。発注に際しては競争性、透明性、公平性の確保が大事であり、これまでも予定

価格の事前公表などにより、入札契約制度の適正化を進めてきたが、引き続き検証していく。

問 福祉館の修繕等の要望はどのよう把握しているか。また、その要望にはどう対応しているのか。

答 職員が各福祉館の巡回を行った際、施設の状態を確認するとともに、管理人から利用者の状況や要望などの聞き取りを行っている。ドアや網戸などの小修繕は、状況に応じて随時対応し、畳などの老朽化の著しいものは、計画的に対応している。また、給排水設備など緊急を要するものは、できるだけ速やかな対応を図っている。

問 割りばしリサイクル運動をさらに啓発してはどうか。

答 割りばしリサイクル運動の啓発については、これまで「クリーンアップ青森」や「広報あおもり」、「会報せいそう」などの広報紙のほか、ホームページにおいて行ってきたが、「ごみの分別と出し方ガイドブック」など、まだ活用されていない広報・周知媒体もあることから、今後それらを積極的に活用し、本運動がさらに広がって

いくよう努めていきたい。

問 ごみの有料化を考える上では、まず、いかにごみを減らすかというところを考えるべきと思う。有価資源物回収事業のうち、学校関係団体の実績を示せ。

答 幼稚園保護者と教師の会及びPTAなどの団体の平成17年度の実績は、浪岡地区では、回収量が176トで奨励金額が70万6千円、青森地区では、回収量が864トで奨励金額が259万2千円となっている。この事業はさまざまな効果が期待でき、有効な事業であることから、今後も推進に努めていく。

問 八甲田牛のブランド化に向けた今後の取り組みを示せ。

答 安全・安心、ヘルシーな八甲田牛を改めて本市の主力品種と位置づけし、2シーズン放牧肥育、稲わらの活用に加えて、リンゴやカシスの搾りかすを配合した飼料など、地域資源循環型で環境に配慮した生産体制に取り組んでいる。販売については、東北新幹線新青森駅開業をにらみ、首都圏を中心とした新たな販売ルートの開拓を図るほか、PR活動についても八甲田牛の魅力に理解を得るための各種活動を実施していく。

問 ナマコ価格の高騰による本市水産業への影響と多発している盗難の防止対策を示せ。

答 ナマコ価格の高騰による本市水産業への影響と多発している盗難の防止対策を示せ。干しナマコの需要の急激な伸

びにより、陸奥湾産ナマコの価格は昨年約2倍と急騰し、本市管内での生産高も本年1月から11月末までで約2億5千万円と昨年同期を大きく上回り、漁業経営の安定に寄与している。一方、価格の高騰に伴い全国的に密漁が増加していることから、青森海上保安部や青森県、青森県警、市町村、湾内各漁協が合同で夜間パトロールを行い、密漁の取り締まりを強化している。

問 12月初旬の降雪のあった次の日、歩道の除雪が行われず、小学生が、ラッシュ時で自動車の交通量の多い車道を歩いている。パトロールをしてもそういう状況が放置されていたのは問題であり、歩道除雪の判断基準を持つべきと思うがどうか。

答 歩道の除雪に関しては、パトロールにより、歩きにくさや交差点の雪盛りの状況などを見て、適切に判断するべきものと考えている。

問 あすなろ橋西側の昇降口付近や歩道には、駐輪自転車が多く歩行に支障を来しているが、市の対応はどうか。

答 長期間駐輪している放置自転車については撤去を行ってきたが、今後は、駐輪しないよう呼びかける看板を設置し、なお改善が見られない場合には、速やかに撤去するよう呼びかける告知札を自転車につけるなどとして、駐輪禁止を呼びかけていきたい。

問 都市計画道路3・4・24号筒井大沢線の道路用地は冬期間の雪堆積場になっているが、ガードレールが設置されたため住民の雪捨てや業者の除排雪の障害となっている。冬期間だけでもガードレールを移動できないか。

答 当該箇所の道路幅員が局所的に広がっていることから、平成16年度にコンクリート基礎つきの仮設ガードレールを設置したが、今後の状況によっては現場内で移動することもあり得る。

問 市営住宅が不足しているのに建設計画がないのはなぜか。

答 公営住宅法の一部改正により、都道府県計画に基づいて公営住宅の建設等をする場合に、国が建設費の補助を行うこととなったため、市では、新たな青森市営住宅ストック総合活用計画の策定作業を進めている。今後、県の住生活基本計画の決定を受けて策定する新たな青森市住宅マスタープランとの整合性を図りながら、市営住宅全般に関する建てかえ時期や整備手法等について整理していく。

問 スクールカウンセラーの役割と配置の現状を示せ。

答 スクールカウンセラーの役割は、児童・生徒のカウンセリング、教職員・保護者への指導、助言及び情報提供等であり、青森市では、小学校8校、中学校16校の合計24校に、1人のスクールカウンセラーが複数校を受け持つ形で10人

予算案

配置されている。

問 金沢小学校の教室に設置されている煙突式のストーブは、危険なので改善すべきではないか。また、防球ネット等の改修及び西側階段踊り場のカビについても対応するべきではないか。

答 ガードつきのポット式石油ストーブについては、冬の教室の寒さ対策として学校からの要望により設置したところである。また、防球ネット等の問題については、現場の教職員などによる応急的な対応も必要なことから、学校と教育委員会が一体となって取り組んでいきたい。

問 税源移譲による所得税と個人住民税の税額変動の内容について、市民へ事前に周知徹底を図るべきと思うがどうか。

答 平成18年度税制改正の内容等をわかりやすく説明するポスターやリーフレットを担当課窓口や各支所等に置くほか、ホームページでもお知らせしている。平成18年12月末には、リーフレットの各家庭への配布、平成19年1月15日号の「広報あおもり」に平成19年度の市・県民税の変更内容とともに、収入階層ごとの具体的な税額変動例等についても掲載していく。

問 通勤・通学のラッシュ時の交通安全対策として、「JR新城坂

踏切から津軽新城駅付近までの区間を一方通行にできないか。

答 青森警察署では、まず、歩行者空間の確保の必要性を認めており、一方通行については、迂回路の道路改良が必要なもの、地元の了解が得られれば検討したいとしている。市としては、青森警察署などと現地における交通診断を実施し、その結果を踏まえて、関係機関に対し、歩行者空間の確保について働きかけをしていきたい。



〈歩行者空間の確保が必要な新城坂踏切付近の県道〉

問 市内の飼い犬の登録頭数及び狂犬病予防のための啓発は今後どのように行おうか。

答 平成17年度市内の飼い犬の登録頭数は1万3千540頭、うち予防接種の実施率は73.9%であ

る。狂犬病予防の啓発については、予防接種の実施について飼い犬登録者にはがきで通知しているほか、「広報あおもり」等を活用し周知を図っているが、獣医師会や県との連携を密にし、より効果的な対策を検討していきたい。

問 リンゴの販売促進について、県との連携が必要だと思うがどうか。また、世界女子カーリング選手権大会も販売促進に利用してはどうか。

答 青森市のリンゴの付加価値を高めて販売し、これを観光に生かすということは大変重要であり、県と協調しながら、また、市独自で取り組んでいる世界女子カーリング選手権大会の機会等を活用して、PRに精力的に取り組んでいきたい。

問 浪岡地区の除排雪は、パトロール職員の指示により出勤することとなっているのはなぜか。また、パトロール職員の勤務体制はどうなっているのか。

答 浪岡地区の除排雪の出勤については、平成17年度までは委託業者独自のパトロールにより判断していたが、出勤にばらつきが見られたため、平成18年度は、市のパトロールにより路面状況等を的確に把握し、出勤を直接指示することとした。パトロールについては、職員4名による2班体制で、降雪状況に応じて午後10時から午前0時までの2時間行うこととしている。

問 桜川大通りに設置された防犯灯は、桜の枝や木に遮られてその機能を十分果たしていないものがあるが、防犯灯の高さを変えるなどの改良ができるか。

答 防犯灯を道路に設置する場合、いたずら防止やできるだけ広い範囲を照らすために、5メートルの位置を基準としている。桜川大通りについては、街路樹の枝による明るさの障害の程度を考慮し、改善が見込まれるものを対象に今後検討するとともに、街路樹についても必要な剪定を行いたい。

問 市民の選択の幅を広げるために、都市計画提案によるかねさ青森工場跡地への大型ショッピングセンターの建設を許可すべきと思うがどうか。

答 都市計画による大規模集客施設の立地の規制は、商業調整ではなく、土地利用のルールであり、市民の選択の幅を狭めるものとは考えていない。当該跡地に係る都市計画提案については、「本市のまちづくりの方針に則していること」等の4つの要件に適合するかという点について検証を進め、審議している。

問 旧ば・る・るプラザ青森の1階のレストランと厨房は専門的な設備であり、今後使わないのであれば、最初から1階部分だけ工期を延ばしてでも大胆に改修すべきではないか。

答 現在、平成19年4月1日の供

用開始を前提とした必要最小限の改修工事を計画しているが、今まさに改修工事の設計に着手するという状況であることから、厨房改修の可能性も含めた設計作業をしていきたい。



〈平成19年4月の供用開始を前提に市が購入する旧ば・る・るプラザ青森〉

問 市民の発表の場の確保のためにも、大規模修繕に費用がかかるとしても、市民文化ホールを存続してほしいと思うがどうか。

答 市民文化ホールの周辺には演劇や音楽会にも対応可能な市民福祉プラザ、講演会やミニコンサートを主な使用目的とするアピオ青森があり、両施設での機能代替が可能であることなど、機能面、立地環境、財政負担等を総合的に検証した結果、旧ば・る・るプラザ青森を市民文化ホールの代替施設として取得することとした。

問 新幹線新青森駅の南北連絡通路の幅は6mとされているが、土産店、喫茶店、団体客の集場所などの機能を付加できるよう拡張すべきと思うがどうか。

答 新幹線新青森駅舎の主な動線は東口の広場であり、南北連絡通路は南側の市民の利用に供するものであるという観点から、連絡通路の機能を果たす上でこの幅が合理的であり、これ以上に幅を広げることは考えていない。

問 泉川小学校体育館の屋根の赤さび修繕に対する70人を超える署名による住民からの要望にどう対応するのか。

答 泉川小学校体育館の屋根は全体的にさびが発生し、今後、雨漏りも想定されることから、長期にわたって放置できないものと認識しており、教育活動の支障にならないように、学校長とも協議しながらその修繕方策等について検討していきたい。

問 子供たちがスポーツ広場などを利用する場合、施設使用料を無料でできないか。

答 スポーツ広場をはじめとする体育施設等では、幼稚園、保育所、小・中学校の運動会などの行事等で使用する場合には、施設使用料の全額または一部を免除している。子供たちの施設使用に係るすべての使用料の免除を行うことは、現在の規定上難しいが、今後、他都市の状況も調査したい。

問 森林博物館は入館者が減少傾向にあるが、もっと施設を有効に活用し、広く市民が利用できる方法を検討すべきではないか。

答 当該施設は、約350本のさまざまな樹木による四季折々の美しい景観があり、地域のシンボルとして親しまれている。各種企画展のほか、旧稽古館の民俗資料の展示などを実施しているにもかかわらず入場者が減少傾向にあるが、さまざまな利用方法等について指定管理者の柔軟な管理運営が可能となるよう、条例等の改正も視野に入れながら検討していきたい。

問 平成19年3月に開催される世界女子カーリング選手権大会のPR活動について示せ。

答 市ではこれまで、大会のシンボルマークやテーマの決定、ホームページの開設、リーフレットの作成、大会テーマソングの発表など積極的なPR活動を行ってきた。また、平成18年12月には100日前記念イベントでカウントダウンセレモニーを行った。今後は、大会告知バナー、看板や横断幕の設置、新聞広告などの媒体を通じた周知を図るほか、市内で開催されるイベントでのPR活動に努める。

問 本市の小・中学生に対するカーリング普及の取り組み状況を示せ。

答 本市では、青森市スポーツ会館にカーリング専用シートを設置

し、カーリングの普及振興に努めてきた。また、平成17年度から市内小・中学生を対象にジュニアカーリング教室を9回開催し、延べ290人が参加した。平成18年度は12回の開催を予定しており、平成19年3月には、第1回青森市小学生カーリングチャレンジカップを市内小学生を対象に開催することとしている。

問 青森市でも国民健康保険証をカード化すべきではないか。県全体で足並みをそろえないとできないのか。

答 青森県国民健康保険団体連合会における議論では、平成20年に創設される後期高齢者医療制度における被保険者証の取り扱いを見

定める必要があるとされた。市単独での実施についても、医療機関等の混乱を避けるため、また、コストもかかるため、県全体で統一して実施した方がよいとされており、今後、同連合会等との連携を図りながら研究していきたい。

問 浪岡病院の患者送迎バスを浪岡駅で乗降できるように運行コースを変更できないか。

答 浪岡駅経由への運行コースの変更については、列車や路線バス利用者などの利便性の向上につながる一方、患者を一刻も早く病院、あるいは自宅付近へ送らなければならぬ使命もあるため、運行時間や経路などを工夫し、前向きに検討していきたい。

議員提出議案

臨時会で取り扱ったもの

全会一致で可決した条例

青森市議会委員会条例の一部を改正する条例

各常任委員会の名称、委員定数及び所管、議会運営委員会の委員定数を改正するもの。
※各常任委員会の新たな構成は、5名と6名に掲載している名簿をご参照ください。

定例会で取り扱ったもの

全会一致で可決した規則

青森市議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の一部改正により常任委員会が、その所管する事務に關して、議会に議案を提出できるようになったことに伴い、その提出及び審議の手續を定める等のため改正をするもの。

全会一致で可決した条例

青森市議会委員会条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、各委員会の委員の選任は、議長の名指によることなどについて改正をするもの。

全会一致で可決した意見書

道路財源の確保に関する意見書

本市は、鉄道の利便性が低く自動車交通への依存率が高いため、冬場の道路交通の確保が必要不可欠であるが、2カ年にわたり豪雪に見舞われており、昨今の交付税改革の中、市の財政状況も急速に悪化している。今後豪雪が続いた場合、必要な冬期の道路管理が行えるかどうか大変不安である。よって、①地方の道路整備は立ちおかれており、地方の道路整備財源の充実を図ること②道路特定財源を一般財源化したとしても、受益者負担という制度の趣旨に沿って、道路整備のための財源として確保することを強く要望する。

森林の保全及び林業の活性化に関する意見書

地球温暖化現象が人類の生存基盤を揺るがす重要な環境問題とされている中で森林は温室効果ガスの吸収など大きな役割が期待されている。さらに、近年、自然災害が多発する中で、森林の持つ多面的機能の発揮が一層期待されているが、厳しい状況が続いている林業・木材産業の再生のためには、強力な施策の展開が必要である。

よって、①多様で健全な森林保全の推進、林業・木材関連産業の再生等、望ましい森林・林業政策実行に向け、必要な予算を確保すること②税制上の措置などにより、地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策を推進するための安定的な財源確保を図ることなどを強く要望する。

賛成多数で可決した意見書

障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書

障害者自立支援法による応益負担(定率1割)の導入は、障害者の施設からの退所、作業所への通所やホームヘルプサービス利用の制限などの形で、生活水準の低下を引き起こしている。また、事業者も報酬単価の引き下げなどにより事業運営の継続が困難な状況に追い込まれている。よって、①同法施行による影響調査を早急に行い、同法の見直しを根本から行うこと②応益負担制度を根本的に見直すこと③障害者・障害児が安心して医療を受けられるよう、同法から自立支援医療を切り離し、従来の精神通院医療、育成医療、更正医療に戻すことなどを強く要望する。

請願・陳情

不採択となったもの

生活保護夏季・冬季給付金等の復活と増額を求める請願 3件

【民生環境(常任)】

編集後記

明けましておめでとうございます。市議会だより第8号をお届けします。なお、本号から編集を務める議員が新しくなりました。市議会だよりは、市議会の活動を市民の皆様によく知っていただくため、定例会終了後の年4回、全世帯に配布しています。ご覧いただき、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

議会広報特別委員会

- 委員長 藤原 浩平
- 副委員長 村上 武志
- 委員 村川みどり・奈良岡 隆
- 奈良 祥孝・赤木 長義
- 奥谷 進・渋谷 勲
- 小田桐金三・大矢 保

議会を傍聴して

油川字大浜 男性 72歳

青森市と浪岡町が合併し、新青森市の主な課題は何かを探りに、市議会を傍聴した。一般質問は除雪に関するものが多く、我々市民と行政の立場の違いを感じて、まだまだ話し合いが必要であると感じた。除雪、ごみ、学校・教育、新幹線と問題は山積みのようなので、我々市民は議員とともに、住みよいまちづくりについて関心を持っていきたいと思った。

●今定例会の傍聴者総数 105人



平成18年第4回定例会 議案等審議結果

■平成18年度青森市一般会計(1件)・特別会計(8件)・企業会計(1件)補正予算	原案可決
■青森市田代平少年の家条例を廃止する条例の制定について、ほか6件 ※市の条例を廃止または一部改正するもの。ほか6件の条例名(「青森市」等は省略)は次のとおり。 (小学校条例の一部を改正する条例、市営住宅管理条例及び青森市特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例、市民文化ホール条例の一部を改正する条例、公害防止条例の一部を改正する条例、病院料金及び手数料条例の一部を改正する条例、消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例)	原案可決
■契約の締結について(青森市浪岡体育館改築工事)	原案可決
■財産の取得について(2件)(市道油川新城線道路改良事業用地取得、青森市民ホールとしての建物取得)	原案可決
■医療事故に係る損害賠償の額の決定について	原案可決
■青森市立本郷保育所の指定管理者の指定について、ほか22件 ※市の公の施設の管理を行うこととなる指定管理者を指定するもの。ほか22件の施設名(「青森市」等は省略)は次のとおり。 (浪岡中央児童館、五本松児童館、王余魚沢児童館、女鹿沢児童館、平川児童館、吉野田児童館、杉高児童館、浪岡高齢者いきいきセンター、男女共同参画プラザ、働く女性の家、孫内農村センター、合浦公園、野木和公園、野木中央公園、本町公園、戸山中央公園、戸山西公園、奥野中央公園、はまた公園、浜田中央公園、八ツ役北公園、平和公園)	原案可決
■青森県後期高齢者医療広域連合の設立について	原案可決
■青森地域広域事務組合規約の変更について	原案可決
■青森地域広域消防事務組合規約の変更について	原案可決
■南黒地方福祉事務組合規約の一部変更について	原案可決
■津軽広域水道企業団規約の変更について	原案可決
■市道の路線の廃止について	原案可決
■市道の路線の認定について	原案可決
■決算の認定について(平成17年度青森市一般会計・特別会計歳入歳出決算)	認定
■監査委員の選任について 工藤 徳信 議員、花田 明仁 議員	同意
■財産区管理委員の選任について (前田財産区) 澤田 公誠 氏、(土橋財産区) 神 勇一 氏、(大平財産区) 穂元 豊一 氏、(野内財産区) 加藤喜代道 氏、横内 大成 氏	同意
■人権擁護委員候補者の推薦について 津川 勇二 氏	同意
■青森市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
■青森市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■道路財源の確保に関する意見書	原案可決
■森林の保全及び林業の活性化に関する意見書	原案可決
■障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書	原案可決
■公共工事における賃金等確保法(公契約法)の制定を求める意見書	否決
■リハビリテーションの診療報酬制度に関する実態調査を早め、制度の緊急停止を求める意見書	否決
■最低保障年金制度の創設を求める意見書	否決

次の定例会は3月の予定です。

あおもり市議会だよりは再生紙を使用しています